

重点
事項 **3**

ライフジャケットの常時 着用等自己救命策の確保

万が一海に転落した場合、①海上に浮く②速やかに救助要請という2点が
必要不可欠です。



1
ライフジャケットの
常時着用



2
連絡手段の確保



3
海の緊急通報

海上保安庁へのお問い合わせは、最寄りの官署へ

- 第一管区 海上保安本部 (小樽) 電話 0134-27-0118
- 第二管区 海上保安本部 (塩釜) 電話 022-363-0111
- 第三管区 海上保安本部 (横浜) 電話 045-211-1118
- 第四管区 海上保安本部 (名古屋) 電話 052-661-1611
- 第五管区 海上保安本部 (神戸) 電話 078-391-6551
- 第六管区 海上保安本部 (広島) 電話 082-251-5111
- 第七管区 海上保安本部 (北九州) 電話 093-321-2931
- 第八管区 海上保安本部 (舞鶴) 電話 0773-76-4100
- 第九管区 海上保安本部 (新潟) 電話 025-285-0118
- 第十管区 海上保安本部 (鹿児島) 電話 099-250-9800
- 第十一管区 海上保安本部 (那覇) 電話 098-867-0118

JAPAN COAST GUARD

海の事故ゼロ キャンペーン

海では安全が一番大事。
海の事故ゼロ目指しよう!!
2015年度 日本海の日
大河南都子

2015 **7/16** ▶ **31**

全国海難防止強調運動

海難 **0** への願い

重点
事項

1

見張りの徹底及び船舶間 コミュニケーションの促進

海の事故で一番多いのが衝突、その主な原因は「見張り不十分」や「不適切な操船」です。

1 常時適切な見張りの徹底

「居眠り運航」や自動操舵任せで見張りをおろそかにせず、常時適切な見張りを行いましょ。

2 船舶間コミュニケーションの促進

早期に船舶間のコミュニケーションを図り、相手船の動きを把握することで、適切な操船を行いましょ。

● 早めに相手船にわかり
やすい動作をとる

● 国際 VHF や汽笛信号など
を活用する

● AIS 情報の活用と正しい
情報の入力

なんといっても
見張りが重要です!!

重点
事項

2

プレジャーボートの 発航前点検の徹底

発航前点検を
しっかりと!!

プレジャーボートによる事故は全体の4割以上、特にエンジントラブルによるものが増えています。

- 燃料
- エンジンオイル
- バッテリー電圧
- 冷却水 など

の発航前点検を確実に行いましょ。